

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月30日

上場会社名 株式会社TOKAIホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3167 URL <http://tokaiholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鴫田 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理部担当 (氏名) 小澤 博之

TEL 054-275-0007

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	132,959	1.6	3,196	△43.8	2,959	△40.2	920	△47.9
25年3月期第3四半期	130,879	1.4	5,690	0.1	4,948	0.6	1,767	49.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,420百万円 (△30.0%) 25年3月期第3四半期 2,030百万円 (82.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	8.03	—
25年3月期第3四半期	17.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	172,863	34,139	19.2	289.48
25年3月期	177,642	34,011	18.6	289.34

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 33,234百万円 25年3月期 33,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	188,400	3.7	6,700	△25.0	6,180	△23.4	2,530	△18.0	22.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の業績予想の修正については、本日、公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	155,199,977 株	25年3月期	155,199,977 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	40,391,550 株	25年3月期	40,791,572 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	114,559,750 株	25年3月期3Q	99,980,668 株
----------	---------------	----------	--------------

(注)自己株式数には、従業員持株会型ESOP信託口が所有する当社株式数919,200株を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安・株高を背景に企業収益の改善や個人消費の持ち直し等回復の兆しが見られました。しかしながら、海外経済の減速懸念等から、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

そのような状況下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績については、顧客件数の増加により売上高は132,959百万円（前年同期比1.6%増）と4期連続の増収を果たしました。利益面では、液化石油ガス事業において気温の影響等による販売数量の減少や円安の影響による仕入コストが増加したこと、加えて将来の成長に向けた戦略的費用を投じたこと等により営業利益は3,196百万円（同43.8%減）、経常利益は2,959百万円（同40.2%減）、四半期純利益は920百万円（同47.9%減）となりました。

なお、当社グループの当第3四半期連結会計期間末における継続取引の顧客は、新規獲得が順調に進んだこと等により、期首から64千件増加し、2,510千件となりました。

また、当社グループが提唱する、お客様の快適な生活を総合的、且つきめ細やかにサポートする“TLC（Total Life Concierge トータルライフコンシェルジュ）”の一環として、平成24年12月より開始した「TLC会員サービス」（当社グループが提供するサービスのご利用に応じてポイントを還元するサービス）の会員数は、当第3四半期連結会計期間末で期首から190千件増加の295千件となり、顧客の早期囲い込みを実施しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「ガス及び石油」に含めていた「アクア」を、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。以下の業績については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えて比較しております。

(ガス及び石油)

液化石油ガス事業につきましては、引き続き他社との競合が厳しい環境の中で、中止件数の増加に歯止めをかけたことで純減傾向が改善し、顧客件数576千件を維持しました。しかし、気温の影響やお客様の節約志向の高まり等により、LPガスの販売数量が前年同期を下回り減収となりました。また、円安の進展によりLPガスの仕入コストが増加しました。

これらにより、当部門の売上高は66,964百万円（同0.3%減）、営業利益は1,807百万円（同35.1%減）となりました。

(建築及び不動産)

建築及び不動産事業につきましては、店舗等の建築工事や設備機器の販売が好調に推移し、また総合リフォームサービスについても「TOKAI W i L L リフォーム」（W i L LはWe Will Link Lifeの略）ブランドの浸透により、着実に成果を上げてまいりました。

これらにより、当部門の売上高は12,379百万円（同14.1%増）、営業利益は267百万円（前年同期は77百万円の損失）と大きく改善しました。

(CATV)

CATV事業につきましては、大手通信事業者の進出による放送サービスの競合等により、放送サービスの顧客件数が期首から2千件減少し502千件となりました。一方、バンドル化の推進、長期継続約束割引の適用による囲い込みにより通信サービスの顧客件数が期首から5千件増加し191千件（CATV-FTH132千件、CATVインターネット59千件）となりました。

これらにより、当部門の売上高は18,093百万円（同1.7%増）、営業利益は776百万円（同31.1%増）となりました。

（情報及び通信サービス）

ブロードバンド事業につきましては、大手家電量販店などの取次店各社及びF T T Hキャリア事業者との提携によるF T T Hの新規顧客獲得が順調に推移し、顧客件数は期首から32千件増加し、836千件となりました。また、平成25年4月から、西日本エリアにおける情報通信サービスを本格的に開始しました。

これらにより、当部門の売上高は28,628百万円（同0.9%増）となりましたが、一部家電量販店での顧客獲得コストの増加等により、営業利益は2,219百万円（同23.8%減）となりました。

（アクア）

アクア事業につきましては、静岡県内の顧客基盤を活かした事業展開に加え、平成25年5月より関東エリアに本格参入し、急成長している市場の拡大に対して、時宜を的確に捉えた積極的な展開を進めました。

宅配水ワンウェイサービスのブランド名を「おいしい水の贈りもの うるのん」に改めるとともに、「ドラえもん」をイメージキャラクターに起用する等、子育て主婦層をターゲットとしたブランド戦略を展開したほか、大型商業施設や家電量販店の店頭とL P ガス直販ルートの両面からFace to Faceの営業に取り組み、顧客件数が期首から19千件増加し121千件となりました。

これらにより、当部門の売上高は3,271百万円（同13.4%増）となりましたが、関東市場における顧客獲得推進のために「うるのん」ブランドの浸透や獲得体制の強化に戦略的な販促費用を投じたこと等により、営業損失は1,781百万円（前年同期は705百万円の損失）となりました。

（その他）

介護事業につきましては、平成25年8月に3施設目となる「リフレア清水村松（デイサービス施設）」を開設しました。既存施設の利用状況も順調であり増収となりました。婚礼催事事業につきましても、婚礼挙式組数が増加したことにより増収となりました。一方、船舶修繕事業が受注の遅れ等により減収となりました。

これらにより、当部門の売上高は3,621百万円（同4.6%減）、営業損失は87百万円（前年同期は88百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は172,863百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,778百万円の減少となりました。

これは主として、減価償却等により有形固定資産が2,721百万円及び無形固定資産が1,796百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は138,724百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,907百万円の減少となりました。

これは主として、未払法人税等が 937 百万円、引当金が 1,191 百万円、償還により社債が 2,080 百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は 34,139 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 128 百万円の増加となりました。

これは主として、剰余金の配当により 1,387 百万円減少しましたが、四半期純利益 920 百万円を計上したこと、自己株式の処分等により自己株式が 103 百万円減少したこと及びその他有価証券評価差額金が 479 百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は 19.2% (前連結会計年度末は 18.6%) となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という。) は、前連結会計年度末から 758 百万円減少し 3,358 百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は 14,535 百万円 (前年同期比 2,986 百万円の減少) となりました。これは主として、たな卸資産の増加、法人税等の支払による資金の減少がありましたが、売上債権の減少による資金の増加、減価償却費及びのれん償却額の非資金項目があったこと等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は 7,672 百万円 (同 117 百万円の増加) となりました。これは主として、有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は 7,635 百万円 (同 992 百万円の減少) となりました。これは主として、リース債務の返済による支出、社債の償還による支出等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年5月9日に「平成25年3月期決算短信」で公表をいたしました通期業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日、公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,235	3,395
受取手形及び売掛金	20,944	19,989
商品及び製品	6,383	6,984
仕掛品	859	1,041
原材料及び貯蔵品	899	822
その他	7,435	7,801
貸倒引当金	△406	△334
流動資産合計	40,351	39,701
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,597	43,025
機械装置及び運搬具（純額）	22,829	22,016
土地	21,799	21,929
その他（純額）	16,375	16,909
有形固定資産合計	106,602	103,881
無形固定資産		
のれん	12,632	10,751
その他	2,273	2,357
無形固定資産合計	14,906	13,109
投資その他の資産		
その他	16,432	16,819
貸倒引当金	△793	△748
投資その他の資産合計	15,638	16,071
固定資産合計	137,147	133,062
繰延資産	143	100
資産合計	177,642	172,863

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,019	13,454
短期借入金	44,454	50,946
1年内償還予定の社債	4,160	4,160
未払法人税等	1,503	565
引当金	1,481	25
その他	17,944	17,525
流動負債合計	82,563	86,677
固定負債		
社債	7,160	5,080
長期借入金	36,933	30,228
引当金	1,454	1,720
その他	15,520	15,017
固定負債合計	61,068	52,046
負債合計	143,631	138,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,000	14,000
資本剰余金	22,183	22,183
利益剰余金	4,225	3,758
自己株式	△8,313	△8,209
株主資本合計	32,096	31,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,001	1,480
為替換算調整勘定	5	21
その他の包括利益累計額合計	1,006	1,502
新株予約権	324	322
少数株主持分	584	582
純資産合計	34,011	34,139
負債純資産合計	177,642	172,863

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	130,879	132,959
売上原価	81,053	84,314
売上総利益	49,825	48,645
販売費及び一般管理費	44,134	45,449
営業利益	5,690	3,196
営業外収益		
受取利息	26	25
受取配当金	113	128
設備賃貸料	161	156
貸倒引当金戻入額	—	139
その他	410	393
営業外収益合計	712	843
営業外費用		
支払利息	1,113	892
その他	341	187
営業外費用合計	1,454	1,079
経常利益	4,948	2,959
特別利益		
固定資産売却益	2	2
伝送路設備補助金	29	49
投資有価証券売却益	—	114
特別利益合計	32	167
特別損失		
固定資産売却損	25	0
固定資産除却損	922	581
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	217	—
特別損失合計	1,166	581
税金等調整前四半期純利益	3,815	2,545
法人税、住民税及び事業税	1,728	1,631
法人税等調整額	309	△10
法人税等合計	2,037	1,620
少数株主損益調整前四半期純利益	1,777	924
少数株主利益	10	4
四半期純利益	1,767	920

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,777	924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	260	479
為替換算調整勘定	△7	14
持分法適用会社に対する持分相当額	—	1
その他の包括利益合計	252	496
四半期包括利益	2,030	1,420
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,020	1,415
少数株主に係る四半期包括利益	10	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,815	2,545
減価償却費	10,629	11,000
のれん償却額	2,451	2,136
受取利息及び受取配当金	△139	△153
投資有価証券売却損益 (△は益)	1	△114
支払利息	1,113	892
固定資産売却損益 (△は益)	22	△2
投資有価証券評価損益 (△は益)	217	—
固定資産除却損	922	581
売上債権の増減額 (△は増加)	3,080	1,750
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△604	△705
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,129	232
その他	163	△941
小計	20,542	17,221
法人税等の支払額	△3,020	△2,686
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,521	14,535
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	188	201
有価証券の取得による支出	△10	△755
有価証券の売却による収入	3	137
有形及び無形固定資産の取得による支出	△8,334	△7,862
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	508	—
貸付けによる支出	△7	△24
貸付金の回収による収入	200	122
その他	△102	509
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,554	△7,672
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△1,098	△908
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,250	10,700
リース債務の返済による支出	△2,501	△2,864
長期借入れによる収入	8,170	6,900
長期借入金の返済による支出	△18,159	△17,812
社債の発行による収入	1,785	—
社債の償還による支出	△1,750	△2,080
自己株式の取得による支出	△1	△0
自己株式の処分による収入	3,086	126
配当金の支払額	△1,060	△1,346
その他	△350	△350
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,628	△7,635
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,331	△758
現金及び現金同等物の期首残高	2,432	4,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,764	3,358

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス及び 石油	建築及び 不動産	C A T V	情報及び 通信サー ビス	アクア	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	67,174	10,846	17,800	28,375	2,883	127,080	3,798	130,879	—	130,879
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	232	755	771	2,090	14	3,864	57	3,922	△3,922	—
計	67,406	11,602	18,571	30,466	2,898	130,945	3,856	134,801	△3,922	130,879
セグメント利益 又は損失(△)	2,783	△77	592	2,913	△705	5,505	△88	5,417	273	5,690

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、婚礼催事事業、船舶修繕事業、保険事業、介護事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス及び 石油	建築及び 不動産	C A T V	情報及び 通信サー ビス	アクア	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	66,964	12,379	18,093	28,628	3,271	129,337	3,621	132,959	—	132,959
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	151	1,540	707	2,345	37	4,781	148	4,929	△4,929	—
計	67,116	13,919	18,801	30,973	3,308	134,118	3,770	137,888	△4,929	132,959
セグメント利益 又は損失 (△)	1,807	267	776	2,219	△1,781	3,287	△87	3,199	△3	3,196

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、婚礼催事事業、船舶修繕事業、保険事業、介護事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、アクア事業について静岡県内の顧客基盤を活かした事業展開に加え、ワンウェイサービスによる関東市場をはじめとした本格的な全国展開を開始したため、経営資源の配分及び業績の測定にあたってアクア事業を独立した事業として区分する必要性が高まりました。これに伴い、従来「ガス及び石油」に含まれていた「アクア」について、報告セグメントを区分して記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。